

時間割作成手順 <2018～2023年度入学生対象>

◆ 1年生の時間割は以下のような手順で作成しましょう。

※あくまでも参考です。その年の開講曜日・開講時限（時間割）にならって履修してください

(1) 「スポーツ健康学入門」・「スポーツ実習入門」を入れる。

はじめに、クラス指定されている上記必修科目を時間割表に埋め込んでください。

(2) “外国語科目”を入れる。

「総合英語」で外国語科目を履修する場合は、クラスの指定に従って、時間割表に埋め込んでください。会話力を磨きたい方や、将来留学を考えている方は「英語コミュニケーション」やERP科目を履修することをお勧めします。外国語科目群の中で、2年次までに8単位以上修得できるように計画して履修してください。

<外国人留学生>

外国人留学生は、卒業までに日本語6単位+英語2単位の計8単位を修得する必要があります。1年次は以下の表に従って履修してください。

日本語	英語
4科目（4単位）必修 日本語1-I・1-II・2-I・2-II	2科目（2単位）選択 総合英語I (a)(b)・II (a)(b)・ 英語コミュニケーションI (a)(b)

※英語は2年次以降の履修でも可能です。

※「日本語」及び「総合英語」を履修する際は、指定されたクラスで授業を受けること。

(3) 必修科目を入れる。

視野形成科目の中にある「スポーツとキャリア形成」や必修に指定されている専門基礎科目（「生理学」、「機能解剖学A」、「スポーツ哲学」、「スポーツ社会学」、「ヘルスデザイン論」、「スポーツ心理学A」、「スポーツ史」、「スポーツビジネス論I」、「スポーツコーチング論A」）を時間割表に埋め込んでください。スポーツ健康学の基本的知識修得を目的としていますので、1年次にできるだけすべての科目の単位を修得し、2年次以降の学習の準備となるようにしてください。

(4) “専門基幹科目”を入れる。

2～4科目程度履修するのが望ましいでしょう。興味のあるコースがある人は下記を参考にしながら履修してください。複数のコースに興味を持っている人はそれぞれから1科目ずつ履修するなど工夫すると良いでしょう。

- ヘルスデザインコースに関連する科目
「衛生学」「機能解剖学B」
- スポーツビジネスコースに関連する科目

「スポーツ法学Ⅰ」

- スポーツコーチングコースに関連する科目

「スポーツトレーニング論Ⅰ」

(5) 各専門コース科目を入れる。

1年次に開講されている科目は多くはありませんが、2年次にそのコースに進みたいと強く希望している方は、該当コースの専門科目も履修しておくとい良いでしょう。ただし、コース選択がまだ決まっていない方は、無理して履修をする必要はありません。

(6) “視野形成科目”を入れる。

視野形成科目は、大学生として、また社会人として必要な教養を身につけるための科目です。4年次までであれば、いつ履修しても構いませんが、物事を多角的に見る力を養う科目ですので、履修上限単位数を超えない範囲で、積極的に履修されることを望みます。

◆ 2年生の時間割は以下のような手順で作成しましょう。

※あくまでも参考です。その年の開講曜日・開講時限（時間割）にならって履修してください

(1) “外国語科目”を入れる。

「総合英語」で外国語科目を履修する場合は、クラスの指定に従って、時間割表に埋め込んでください。会話力を磨きたい方や、将来留学を考えている方は「英語コミュニケーション」やERP科目を履修することをお勧めします。外国語科目群の中で、2年次までに8単位以上修得できるように計画して履修してください。

<外国人留学生>

外国人留学生は、卒業までに日本語6単位+英語2単位の計8単位を修得する必要があります。2年次は以下の表に従って履修してください。

日本語	英語
2科目（2単位）必修 日本語3・Ⅰ・3・Ⅱ	2科目（2単位）選択 総合英語Ⅲ (a)(b)・Ⅳ (a)(b)・ 英語コミュニケーションⅠ (a)(b)・ 英語コミュニケーションⅡ (a)(b)

※英語は2年次以外の履修でも可能です。

※「日本語」及び「総合英語」を履修する際は、指定されたクラスで授業を受けること。

(2) 必修科目を入れる。

“専門基礎科目”を入れる。（「運動生理学概論」、「スポーツマネジメント論」）を時間割表に埋め込んでください。

(3) “専門基幹科目”を入れる。

1年次履修済の科目を含め、6科目以上の履修になるよう努めましょう。

(4) 各専門コース科目を入れる。

自分の所属しているコース科目を積極的に履修しましょう。また、自分の所属していないコースの科目であっても、受講者数制限のある科目以外は自由に履修可能ですので、興味・関心に合わせて履修してみましょう。

(5) “専門演習”を入れる。

入ゼミを許可されている担当教員の専門演習を時間割に埋め込んでください。

(6) “視野形成科目”を入れる。

視野形成科目は、大学生として、また社会人として必要な教養を身につけるための科目です。4年次までであれば、いつ履修しても構いませんが、物事を多角的に見る力を養う科目ですので、履修上限単位数を超えない範囲で、積極的に履修されることを望みます。

(7) “再履修科目”を入れる。

1年次の必修科目が再履修となっている場合は、忘れずに時間割に組み込みましょう。

◆ 3年生の時間割は以下のような手順で作成しましょう。

※あくまでも参考です。その年の開講曜日・開講時限（時間割）にならって履修してください

(1) “専門演習”を入れる。

入ゼミを許可されている担当教員の専門演習を時間割に埋め込んでください。

(2) 4年次進級要件を満たしているか確認する。

3年次修了までに以下の要件を満たした上で、80単位以上を修得する必要があります。不足単位をすべて修得できるよう履修計画をたててください。

- 外国語科目 6単位以上
- スポーツ健康学入門 2単位
- スポーツとキャリア形成 2単位
- スポーツ実習入門 1単位
- 専門基礎科目（講義科目） 16単位以上

(3) 卒業所要単位を確認する。

3年次・4年次に計画的な履修を行うために、卒業所要単位を確認しながら自分の興味・関心に応じた履修計画をたててください。

(4) “再履修科目”を入れる。

1年次・2年次の必修科目が再履修となっている場合は、忘れずに時間割に組み込みましょう。

◆ 4年生の時間割は以下のような手順で作成しましょう。

※あくまでも参考です。その年の開講曜日・開講時限（時間割）にならって履修してください

(1) “専門演習”を入れる。

入ゼミを許可されている担当教員の専門演習を履修してください。

なお、「専門演習Ⅲ」については、決められた時限に授業を行いません。履修申請時は、「集中・その他」欄での申請となりますので注意してください。

(2) 卒業要件単位を満たしているか確認する。

以下の卒業要件を満たしているか確認してください。

卒業所要単位を124単位以上修得すること。

以下を含み、総合教育科目を28単位以上修得すること。

- 外国語科目 8単位以上
- 視野形成科目 20単位以上

以下を含み、専門教育科目を84単位以上修得すること。

- 専門基礎講義科目 22単位
- 専門基礎実技科目 1単位
- 専門基幹科目 12単位以上
- 所属しているコース専門科目 20単位以上
- コース専門科目と専門演習の合計 50単位以上

(3) 卒業所要単位を4単位以上修得する。

3年次までに卒業所要単位数124単位を満たしていても、4年次に4単位以上修得しなければ卒業できませんので注意してください。